

豆わらじ作成体験教室生徒募集！

11月も引き続き甚風呂で豆わらじ作成体験教室を開催します。6月から開催してきた本教室ですが、参加された方々から「友達にも紹介したいので教室を続けてほしい」「身近なものにつけられるストラップを作りたい」との声をいただきましたので、13日は豆わらじの「ネックレス」、26日は「ストラップ」を作る教室を開く予定です。皆様お誘い合わせの上、ぜひご参加ください。

- 日 時：11月13日(日)夜 7時00分～ ネックレス作成(初級編)
11月26日(土)朝10時00分～ ストラップ作成(中級編)
- 場 所：甚風呂
- 申込み：11月9日(水)までに湯浅伝建地区保存協議会事務局(64-1112)まで
- 備 考：各回定員10名、材料費として1人200円を当日徴収します。

甚風呂で紙芝居を行います

甚風呂で昔なつかしい紙芝居と絵本の読み聞かせを行います。歴史を感じさせる建物で上演する昔ながらの紙芝居を観に来ませんか。

- 日 時：11月17日(木) 12月15日(木)
両日とも午後4時00分～午後4時30分
- 場 所：甚風呂
- 対 象：乳児～小学生
- 備 考：参加費無料、事前申込み不要です。



知って
おこう

伝統的建造物とは

保存地区内にある築後50年を経過した伝統的な建造物(建築物・工作物)のうち、所有者に同意を得て特定したものを伝統的建造物といいます。(特定物件または保存物件と呼ぶ場合もあります)

伝統的建造物の場合、伝統的な外観を維持または復原するための工事のことを「修理」といい、修理基準に基づく施工を行うと、必要な経費に対して補助(最大80%の補助率)を受けることができます。

湯浅伝建地区保存協議会

まちなみ瓦版に皆様のご要望などを掲載していきたいと思ひます。ご意見・ご要望などございましたら、右記編集委員まで連絡をお願いします。

【編集委員】

楠山 吉雄
半邊 宗五
妻木 禎子
齋藤 春太郎(特別委員)

まちなみ瓦版

- 平成23年11月1日
- 第8号
- 発行：湯浅伝建地区保存協議会
- 発行責任者：木下 智之

伝建協近畿ブロック町並み保存技術研修会 in 湯浅

全国伝統的建造物群保存地区協議会(伝建協)では、建築設計士や大工などの技術者と行政担当者等を対象に、伝統的な建造物の保存技術の向上を目的とした研修会を開催しています。

今年度は、10月22日(土) 23日(日)の2日間の日程で、近畿ブロックの研修会を重伝建選定から5周年の節目を迎える湯浅町で開催しました。

初日は、文化庁の清永調査官と伝建地区などで木造建築物の構造調査を行っている京都大学大学院の林教授、和歌山県文化財センターの山本参与による講演が行われ、講演内容を基にグループ討議が開かれました。

2日目は、伝建地区で修理工事現場や京大林研究室の調査現場を見学しました。参加者からは「このような情報交換の場は少なく、各地区の施工方法を聞けてよかった。今回学んだことを地元に戻って活かしたい。」などの声が聞かれ、普段交流の少ない技術者どうしが意見交換でき、貴重な研修となったようでした。



京大林研究室による伝統的建造物の構造的特徴調査

10月21日～24日の間、主に伝建地区の伝統的建造物を対象に、建物の間取りや部材を確認して図面を作成し、機器を用いて建物の揺れの性質などを調べる調査が行われました。調査を行うことによって、見ただけではわからない構造の弱い部分を発見することができるため、耐震補強などの際に参考とすることができます。今回の調査では、建物を調べるだけでなく、所有者に使用状況などの聞き取りなども合わせて行っており、建物の傷みの原因をより詳しく知ることができます。今回の調査結果の報告は、来年4月頃に行われる予定です。



～ 防災に関するアンケートにご協力お願いします～

京大林研究室では、今後起こるであろう南海地震などに備えるため、実際に住まわれている方々の防災意識や、住宅の維持管理などについて調査しています。10月下旬に各家庭へお配りしたアンケートをまだ提出されていない方は、各地区の組長さんへ提出をお願いします。

保存協議会の会議を開催しました

日 時：平成23年10月7日（金） 午後7時30分～午後9時20分

場 所：北の町老人憩の家

出席者：保存協議会委員39名のうち、23名出席

【議題】

（1）湯浅伝建地区保存協議会各部会について

現在、保存協議会で運営している「甚風呂展示・運営検討部会」、「まちなみ瓦版編集部会」、「まちなみ整備部会」、「施設活用検討部会」の4部会の責任者から、各部会進捗状況の報告が行われました。委員から時間が延長するほど多くの質問や意見が出されるなど活発な会議となりました。



甚風呂展示・運営検討部会 責任者：太田副会長

豆わらじの販売と体験教室の様子、甚風呂中庭の整備が完了したことなどを報告しました。

まちなみ瓦版編集部会 責任者：半邊副会長

隔月に発行しているまちなみ瓦版の掲載内容などについて報告しました。

まちなみ整備部会 責任者：三橋副会長

町からは、伝建地区内の無電柱化、道路整備、大仙堀の浄化に向けての取り組みなどについて県と協議中であり、ライフラインの整備には、なにより地元の熱意と協力が必要不可欠であるとの説明を受けたこと、また、町に対して事業を進めていくため、より綿密な実施計画を練るよう要望したことなどを報告しました。

施設活用検討部会 責任者：木下会長

来館者に変好評価を得ている甚風呂と北町ふれあいギャラリーの使用方法については現状のままとし、北の町老人憩の家の活用については、2階の避難スペースを確保しつつ、1階は来訪者を受け入れる拠点施設として利用できるように整備し、前面のオープンスペースと岡正を一体的に管理できるよう町に対し要望していることなどを報告しました。

（2）視察研修について

11月に滋賀県東近江市「五箇荘金堂伝建地区」へ、日帰り視察研修を行う運びとなりました。

まちづくりを進めていく上で、先進地の事例を学ぶことはとても重要なことです。学んだことを湯浅での活動につないでいきたいと思います。

湯浅中学校2年生の職場体験学習

10月12日に湯浅中学校2年生の職場体験学習が行われ、役場に来た3名は甚風呂での来館者対応や北町ふれあいギャラリーの作品展示替え、北の町老人憩の家の清掃などを行いました。生徒たちは一様に「来てくれた人におもてなしするのは楽しい」や「人の役に立つ仕事に携われてうれしい」と言っており、大変な中にも働く喜びを学んだ様子でした。



湯浅町へようこそ ～小学生の社会見学～

9月28日（水）に海南市の日方小学校3年生と4年生、10月24日（月）には和歌山市の山東小学校4年生と6年生が湯浅に社会見学にきました。醤油醸造や湯浅の歴史、熊野古道についてなど、学習内容は学校や学年によりさまざまですが、ほぼ1ヶ月に1回のペースで湯浅を舞台に社会見学が行われています。

重伝建の選定を受け、町内外の小学生が湯浅へ社会見学に来てくれる機会が増えました。県内を見渡しても、町並みを勉強の題材にできるところはほとんどありません。湯浅を訪れる方が増えているということは、今までの取り組みが周りに認められつつあるということだと思います。これからも一歩一歩着実にまちづくりをすすめていきましょう。



豆わらじのバリエーションが増えました

これまでは、豆わらじの「ネックレス」を作り、体験教室を開催していましたが、水引を使った「ストラップ」の作成も始めています。身近なものに使えるようになったことで、さらに多くの方に親しんでもらえることができるようになりました。

豆わらじ「ストラップ」作り体験教室の生徒募集は4面に掲載しています。

